

にし歯科だより



院長

ウィキペディアの説明によると：
和名スイセンという名は、中国での呼び名「水仙」を音読みしたもの。中国で名付けられ漢名の「水仙」は、「仙人は、天にあるを天仙、地にあるを地仙、水にあるを水仙」という中国の古典に由来する。水辺に育ち、仙人のように寿命が長く、清らかなという意味から名付けられたとされる

属名である *Narcissus* とい学名はギリシャ神話に登場する美少年ナルキッソスに由来する。ギリシャ神話によれば、ニンフのエコーは愛する美少年ナルキッソス

（*Narcissos*）に振り向いてもらうことができなかったので瘦せ細り、声だけの存在になってしまふ。エコーを哀れんだ女神メネシスは、池に映った自らの姿に心醉しているナルキッソスをスイセンの花にしたという。



野母崎の水仙の花の向こうに軍艦島を望む

「のもざき水仙祭り」素敵なところでした

晴天の穏やかな海の向こうに軍艦島（端島）が望めます

長崎半島の先端にある野母崎地区の「水仙の里」で行われる、「のもざき水仙まつり」。野母崎の美しい海と軍艦島を望む小高い公園に、約1,000万本の水仙が見事に咲き誇ります。環境省の「かおり風景100選」にも長崎県内で唯一選ばれており、美しい花と香りが楽しめるイベントです。昨年10月から放送された「海に眠るダイアモンド」で主人公の徹平といづみをつなぐ重要な花コスモスは、最終回で端島の対岸の野母崎で一面のコスモス畑の絵で私たちに強烈な印象を残しました。不思議なことに、それと同じ感覚を2月の野母崎で体一杯に受け入れることができます。



第25回 佐賀城下ひなまつり

暖かくなると日本ミツバチたちは本当に嬉しそうに飛びまわります



「佐賀城下ひなまつり」は、鍋島家の格調高いひな人形をはじめ、鍋島小紋や佐賀錦など伝統工芸のおひなさま、佐賀の子どもたちが作ったひな人形などが佐賀城と城下町の各会場に並ぶ、佐賀ならではのひなまつりです。今年のテーマは「花めぐり」です。各会場を彩る様々なは後お雛様のコラボレーションが楽しめます。写真是柳町エリアの旧古賀銀行で、レトロな洋風建築の中で、迫力のピラミッド雛壇や華やかな吊るし飾り、佐賀のお菓子や伝統工芸を楽しめます。吊るし飾りの鮮やかな色合いは、カメラマンとしての興味を強く引きましたが、作品を完成させることはできませんでした。もう少し時間をとって、再度チャレンジしてみたいと思います。

2月5日 今年も佐賀に雪が降りました

毎年佐賀でも雪が降りますね。今年も少しだけ積もりました。写真是雪積もる庭の日本ミツバチの巣箱の様子です。ピンクと紅の椿も咲き始めたところの雪も美しいもので、四季のある日本に住んでいる事を本当に嬉しく思います。このように寒い日には、日本ミツバチたちはほんの少しも外には出てきません。巣箱の中でみんなが固まって、肩寄せ合い寒さに耐えているのです。厳しい冬を耐えられたなら、素晴らしい春を迎えることができるのです。もうすぐそこまで春はきていると思って頑張りましょう。

